

今までにやったことがない。

自分たちの力で実践可能である。など

イ 集会（イベント）名を考える

*その学級独自の色が出るネーミングを考える。集会（イベント）名が決まったら、短冊用紙に書いて教室内に掲示する。

*原案が出されたものには京花紙で作った白い花，集会が終わったものには赤い花をつけていけば，視覚的にも映え，子どもの意識も持続します。

ウ 原案づくり

*実行委員で集まって，原案を書かせます。話し合う時間を最小限におさえるために，原案を書く場合，次のことを考えさせます。

a みんなの意見を聞きたいものがどれか？

b 実行委員で決めてもいいものはどれか？

*原案ができれば，意見交換会を行い，みんなからの意見を集約します。

この「言い出しっぺ実行委員会」，最近ではプロジェクトチームという名称で，いわゆる『集会』というものばかりでなく，その他の学級づくりにかかわる取り組みにも応用されているようです。初めから子どもたちが思いつくことはあまり期待できませんが，教師側から積極的に声を掛けていくと，発想の幅も広がると同時に，学級づくりにかかわっているという自覚も育てることができます。

実行委員会の実際については，別の機会に紹介していきます。

2 学級づくりで，はっ！とさせられたこと

熊本市立麻生田小学校 平野 修

情報交換の願いを受けて，熊本の平野さんからメールが届きました。さっそく紹介させていただきます。

『学級づくりで，はっ！とさせられたこと』

もう何年も前の話ですが，6年に持ち上がったときにある子どもから学級会の時に

「学級目標なんていない。学級目標があると、なんでも学級目標のため・・・と言って自分のやりたいことや自分の楽しみができなくなる。だから学級目標なんて作らなくていい。」

という意見が出されました。その当時、学級目標を作るのは当たり前、何の疑問もなく、ただ作っていた自分にとっては、とてもショックな言葉でした。そして、結局一学期は学級目標を作らずにおきました。すると2学期になって、その子からも他の子からも

「学級目標は絶対に必要だ！」

「学級目標がないと学級としてのまとまりや方向がなくなる」

という意見が出され、2学期に作ったことがあります。その時、感じたことは自分は何も学級目標の意味や意義を子どもたちと考えることなく作っていた。ただ、自分の中で作るべき物・・・として処理していたことを痛感しました。学級目標をつくる意味や意義を子どもたちと語る大切な時間を作っていなかったことに気づかされました。特活をずっとやっていると自分の価値観だけで当たり前ということで処理していることが多くなることもあります。子どもと共にしっかり考え、作ることの大切さをその時学びました。

3 メルマガ編集部からのお知らせ

◆次号の予告◆◇◆

第59号は6月上旬ごろ発行予定です。

次号の特集も、集会活動の企画についてお知らせします。

◆山口学級活動ネットワーク メールマガジンの登録について◆◇◆

現在の購読者は226名です。どんどん読者が増えてきています。嬉しい限りです。これまで以上に内容を充実させていく必要を感じています。もっともっとメルマガ仲間が増えるといいなと思っています。お知り合いの方にこのメルマガを紹介してください。登録については、山口学級活動ネットワークのホームページをご参照ください。

url: <http://www.yamakoshu.org/gakkatu-net/>

◆内容の充実について◆◇◆

このメールマガジンでは、読者のみなさんのニーズに応える紙面作りに取り組んでいこうと思っています。こんな内容について書いて欲しい。こういう情報が欲しい、ということをお知らせください。

sugi-net@c-able.ne.jp

本年度中に特別活動の年間計画をつくる必要があります。そのあたりについても可能な限り書いていこうと思います。

◆実践投稿のお願い◆◇◆

読者のみなさん、みなさんが取り組まれている情報を送ってください。学級づくりの実践を広げ、共有していきましょう。

本メールマガジンでは、次のような新しいテーマで情報交換を行ってみようと考えています。どんな小さな事でもけっこうです。情報をお待ちしています。

*こんな時、どうする？コーナー

学級での生活の中でのいろいろな場面を想定し、その時、どういう手立てをうてばよいか、についての実践を紹介してください。これまでに取り組まれたことのある実践もお待ちしています。

*学級づくりで、はっ！とさせられたこと

長く学級担任をやっていると、自分のやり方が当たり前になってしまっていることに気づかされることがあります。それを教えてくれるのが子どもたちだったりします。そういう出来事や子どもたちのつぶやきを紹介してください。

*子どもってすごいなあ！と思ったこと

子どもがもっているものって素晴らしいです。子どもたちといると、「子どもってすごいなあ」と感心させられることが多々あります。子どもたちのそういう姿を紹介しあいませんか。

このたび、さっそく熊本の平野さんから投稿をいただきました。感謝です！

みなさんも、ぜひ以下のアドレスまでよろしくお願いします。

sugi-net@c-able.ne.jp

=====

山口学級活動ネットワーク メールマガジン

☆ご感想・ご意見はsugi-net@c-able.ne.jpまで

☆編集・発行 山口学級活動ネットワーク メールマガジン編集部

梶田崇晴（山口市立平川小）

津村元文（美祢市立伊佐小）

吉田哲朗（山口大学附属山口小）

=====